

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成30年8月9日(2018.8.9)

【公開番号】特開2017-92923(P2017-92923A)

【公開日】平成29年5月25日(2017.5.25)

【年通号数】公開・登録公報2017-019

【出願番号】特願2015-227083(P2015-227083)

【国際特許分類】

H 04 R 1/34 (2006.01)

【F I】

H 04 R 1/34 3 1 0

【手続補正書】

【提出日】平成30年6月6日(2018.6.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

右と左のスピーカーの前面に置かれた反射するガイド板によって右と左の外側から出る間接音が部屋の左右の外壁や反射物に反射して直接音に対して拡散する音源として聞こえるので、音場感が増加する。図6に基づいて説明すると、前記反射物を反射板(18)、(19)とし、これを本発明による音響ガイド器(20)、(21)の外側に設けることでこの両部位の間(22)、(23)からホーン効果として指向性の広い中、低音帯域の音が導かれる。

これによって音源が左右のスピーカー(24)、(25)の外側(26)、(27)にあるように聞こえ、広い音場感が得られる。低音帯域の音は当該反射板(18)、(19)の外側から得られる。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

【図1】音響ガイド器の動作原理を示した説明図である。

【図2】音響ガイド器の斜視図の説明図である。

【図3】音響ガイド器の実施方法を示した説明図である。

【図4】指向特性を示した説明図である。

【図5】スピーカーの振動面を示した説明図である。

【図6】反射板を設けた説明図である。

【手続補正3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図6

【補正方法】追加

【補正の内容】

【図6】

